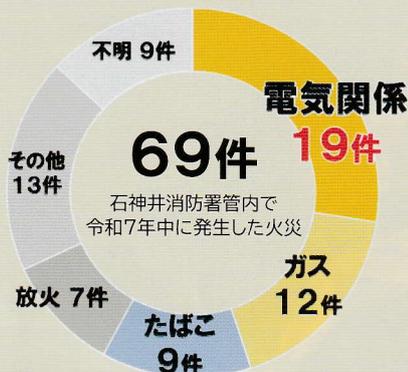


# データ※から見る 令和7年の石神井消防署

※ 記載している数値は令和8年1月15日現在の速報値です。



## 69件の火災が発生！184平方メートルを焼損！



令和7年中に石神井消防署管内で発生した火災は69件で、焼損床面積は184平方メートルでした。火災による死者は3名、けが人は15名でした。

火災の出火原因に注目してみると、最も多いのが「電気関係(19件)」、次いで「ガス(12件)」、「たばこ(9件)」の順になっています。

電気関係の火災件数は、令和2年から6年連続で出火原因1位になっています。



STOP  
リチウムイオン電池火災  
東京消防庁公式  
YouTube チャンネルへ

### STOP! 電気火災 実際にあった電気火災の例



コードの小さなこげ跡も、もしかしたら大きな火災になるかもしれません・・・



電気製品火災に関する  
詳しい情報はこちら  
『電気製品の「小さなこげ跡」でも  
迷わず119番通報してください!』



### リチウムイオン電池等の充電式電池を含む製品を正しく処分するには？

練馬区ではリチウムイオン電池等の充電式電池を含む製品を処分する場合は、不燃ごみの日に別袋で出さなければなりません。(電極が露出している場合は、電極部にテープ等を貼り絶縁してください。)

可燃ごみや容器包装プラスチックで出してしまうと、清掃車やリサイクル工場での発火事故につながるため、適切な分別・排出にご協力をお願いします。



同じ袋に  
入れちゃダメ!

別の袋に入れて  
出しましょう!



#### 膨張した充電式電池を含む製品を出す場合

管轄の清掃事務所、各リサイクルセンター、または資源循環センターにお持ちいただくか、不燃ごみ収集日に収集をしている職員に直接手渡ししてください。

詳しくは練馬区ホームページをご参照ください。



練馬区ホームページ



## 189件の訓練に、16,243名が参加!

防災訓練に参加して、消火器具の取扱いを学びましょう。



東京消防庁管内で発生した建物火災のデータによると、初期消火で消火器具による初期消火を実施した火災の約8割が被害軽減につながっています。

また、震災時においては、初期消火率が向上することにより、被害を大幅に軽減することが可能であると推計されています。ぜひ、防災訓練に参加して消火器具の取扱いを習得しましょう。

防災訓練に関するご相談は、石神井消防署までご連絡ください。